

行政報告の主な内容（6課9項目）

(1)総務課	災害被害状況について
	基地対策・自衛隊関係について
(2)保健福祉課	特定健診等の実施状況について
(3)農業振興課	農作物の生育状況について
(4)建設水道課	北海道治水砂防海岸事業促進同盟関係について
(5)町立病院	介護医療院の開設について
(6)教育振興課	小中学校での学校生活について
(7)総務課	新型コロナウイルス感染症対策における主な支援策の状況について
	建設工事の発注状況について

行政報告

(令和2年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

それでは、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【基地調整・危機管理室関係】)

まず台風第4号から変わった温帯低気圧による被害の状況についてであります。8月7日、本町においても午前5時8分に暴風警報が発令され、午前5時40分に情報連絡本部を設置し、情報収集に努めるとともに防災無線を通じて町民の皆様に注意喚起を行ったところであります。なお、早朝からの強風により、街路樹の倒木が3本、家屋等の屋根被害が6件、泉町公営住宅の外壁被害が1棟との報告があったところであります。

次に、基地対策関係についてであります。上富良野町基地対策協議会による令和3年度の「防衛施設周辺整備対策に関する要望」として、7月1日に上富良野駐屯地と陸上自衛隊第2師団、7月6日に北海道防衛局、北部方面総監部に対し要望を行い、7月27日から28日に防衛省及び関係国会議員に対し中央要望を行ってきたところであります。また、8月21日には北海道基地協議会として令和3年度の「防衛施設周辺整備対策に関する要望」を北海道防衛局において行ってまいりました。

(保健福祉課行政報告 [福祉対策班関係])

次に、特定健診等の実施状況についてであります。新型コロナウイルス感染症予防対策に努めながら7月6日から17日までの日程で実施し、特定健診につきましては899人の方が受診されたところであります。

また、この期間において、高齢者、若年者、かみふっ子健診、国保外の被扶養者特定健診のほか、各種がん検診・肝炎ウイルス検診なども併せて実施し、2,229人の方が受診され、結果説明会や家庭訪問等において、糖尿病等の重症化予防に重点を置いた保健指導を行ったところであります。

また、健診会場では、管理栄養士によるインボディ測定を通して、サルコペニア重症化予防に向けた相談を実施したところあります。

今後も、町民の皆様が自らの健康について考え、健康的な生活を送るための健康づくり事業の推進に努めてまいります。

(農業振興課行政報告 [農業振興班関係])

次に、農作物の生育状況についてであります。6月中旬から下旬は日照不足、また、8月上旬の高温、降水量不足により、馬鈴薯などで生育の停滞が心配されましたが、8月下旬から降水量も平年並みとなり、全体を通して順調な生育に推移しているところあります。

すでに収穫が終了している麦類につきましては、平年並みの収量となっており、水稻につきましても、7月以降の高温多照によって、登熟も順調に進み平年並みの収量が見込まれているところあります。

いずれにいたしましても、本格的な収穫期を迎え、農作業の安全確保に努めていただき、よりよい出来秋となるよう期待をしているところあります。

(建設水道課【土木建設班関係】行政報告)

次に、北海道治水砂防海岸事業促進同盟関係についてであります
が、7月28日から29日に東京都で開催されました北海道開発予
算に関する中央要請へ参加してまいりました。

今後におきましては、道内の道路、河川砂防事業の促進はもとよ
り、当町の道路・河川砂防施設の整備がより進捗するよう取り組ん
でまいります。

(町立病院行政報告)

次に、町立病院に併設し運営しておりました介護療養型老人保健
施設についてであります。この度の国の方針として、介護医療院
への転換を推進していることから、本町といたしましても今後にお
いて、更に医療ニーズの高い高齢者の増加が見込まれることや、介
護報酬の増収により病院の経営改善が見込まれることなどの理由か
ら、7月1日から「介護療養型老人保健施設28床」を「介護医療
院28床」への転換を図り運営をしているところであります。

(教育振興課行政報告 [学校教育班関係])

次に、再開後の小中学校での学校生活についてであります。6月
1日から学校を再開し、文部科学省基準に基づいた感染症対策を徹
底した上で、段階的に通常の教育活動に戻すように取り組んでいる
ところであり、10日間短縮した短い夏休みも終え、8月18日か
ら登校を再開しているところであります。

夏休みが明けますと例年では学芸会や学校祭の開催、部活動にお
ける全道大会など、スケジュールが目白押しであります。感染予
防を考慮して、すべての大会が中止されており、子ども達にとって

は、これまでの成果を示す場が失われ残念に思っていたところではありますが、現在では、代替えの大会も開催される状況となっております。

また、9月1日からは、教職員の負担軽減として、北海道教育委員会から、来年3月までの期間で学習指導員及びスクール・サポート・スタッフ2名が各校に派遣されたところであり、学校生活の安定に努めてまいります。

(総務課行政報告 [新型コロナウイルス感染症関係])

次に、コロナ禍における生活支援・地域経済支援対策に関し、主な支援策の状況ではありますが、まず、子育て支援関係では、町内の0歳から18歳までの児童・生徒等1,555人に対しまして、子育て応援券を各該当世帯に、また、自粛期間中において、勤務いただきました認定こども園等の職員129人に対しまして、子育て支援従事者応援券を交付したところであります。

次に、高齢者や障がい者の入所及び通所施設関係では、各施設において国からの緊急包括支援交付金を活用し、感染防止対策等に取り組んでいただいているところではありますが、感染予防対策の継続に向けて、必要な物品購入費用等に町独自の助成をスタートさせたところであります。

次に、町税・国民健康保険等の関係では、新型コロナウイルス感染症の影響による固定資産税、町民税、国民健康保険税などの町税を対象とした徴収猶予の特例制度の適用については、9月8日現在、13件、約1千287万円の町税の猶予を実施しております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免については、9月8日現在、38件、694万円の減免を実施したところであります。

次に、緊急経済対策関係では、9月8日現在、融資については件数で42件、融資額で1億1千270万円、利子補給額は17万8千362円、信用保証料の助成額は248万6千748円、経営継続奨励助成金については件数で190件、交付額で4千万円となっております。

なお、経営継続奨励助成金につきましては、今月から夜間の営業が主となる飲食店を対象として家賃支援・北海道新スタイルへの奨励を目的とした奨励助成金の申請受付を開始しております。

また、「おうちでグルメ事業」につきましては、クーポン事業の利用率が56.7%、食事券配布事業は94.3%と多くの町民の皆様にご利用をいただきました。

次に、プレミアム率を30%とする「プレミアム商品券発行事業」では、予約販売と一般販売により完売する中で利用が開始されるとともに、宿泊・観光の支援制度として「かみふらの宿泊キャンペーン」を実施しているところであり、これらの事業を通じて地域経済回復の下支えになることを期待しているところであります。

次に、特別給付金事業関係では、国の特別定額給付金事業については、8月25日を申請期限として、不支給の申請があった6人を除く最終的な交付金対象者1万504人中1万493人分の支給申請があり、既に振込を完了し、支給率は99.9%となったところであります。

また、子育て世帯臨時特別給付金については、9月8日現在、743世帯1,304人に支給し、予算執行率は91.2%となっております。

さらに、町独自の新生児特別定額給付金事業については、8月11日時点で既に出生届をされていた世帯に対し申請案内を行うとともに、以降は窓口での手続きの際に、申請案内を行っており、9月

8日現在20人分の支給を完了しているところであります。

(総務課行政報告 [財政管理班関係])

最後に、建設工事の発注状況についてであります。6月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、9月11日現在、件数で21件、事業費総額1億9千15万7千円で、本年度累計で32件、事業費総額3億8千681万5千円となっております。